



横浜市立恩田小学校 学校だより 6月号

発行 令和元年5月31日



日光の自然と世界遺産にふれて

校長 古屋 澄人

5月19・20日の2日間、6年生と一緒に日光修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、さわやかな気温のもと奥日光の大自然に触れ、世界遺産でもある輪王寺、東照宮、二荒山神社、そして徳川家光の霊廟である大猶院を見学してきました。

6年生の国語の教科書に「森へ」（星野道夫 文）という教材文があります。その中に「目の前の倒木は、たくさんの大木の根にからまれ、今なお栄養を与え続けているようです。」というくだりがあります。戦場ヶ原のハイキングでは、まさに、そのような風景が見られました。木道には大きな倒木が現れ、倒れる前は大地を力強くつかんでいたであろう大きな根を見ることができました。子どもたちは、その根の大きさに驚いていました。



倒木の根

この2日間で、学校目標でもある「お」「ん」「だ」に向けた行動がたくさん見ることができました。その中でも、特に時間を意識して過ごすことができました。食事や買い物の時刻、見学場所での集合時刻を確実に守ることができました。また、話をしっかり聞く姿も素晴らしいと思いました。実行委員の仲間、バスや東照宮のガイドさんの話を真剣に聞き、気持ちよいリアクションも返ってきました。話を真剣に聞くことができると話す人も安心して話すことができます。最終日は私が部屋の最終確認をしている際に、テーブルの上に手紙を見つけました。ある部屋班のメンバーが旅館のスタッフへ感謝の気持ちを書いたものでした。便箋は自分たちで用意したようでした。食事がおいしかったことなど、お世話になったことへの感謝に気持ちが記されていました。「おもいやり」「すすんで行動」「だれとでも協力」が実践されていた2日間でした。

これから1年間、どの学年の子どもたちも多くの人と出会って、多くの人に支えられながら学校生活を送ることになります。6年生が学校の「顔」として「心」として「お」「ん」「だ」を実践したように全校の子どもたちが実践できるように期待していきたいです。

先日のPTA総会へのご参加ありがとうございました。今年のPTAスローガンは「恩田一丸」です。保護者の皆様と共に一丸となって学校教育を進めていきたいと思えます。学校説明会では、新しい学校教育目標の趣旨や重点的な取り組み、各学年の目標について説明しました。5月より「令和」の時代となりましたが、引き続き子どもたちが安全に安心して豊かな学校生活を送ることができるよう職員一同努めてまいります。